

報道関係各位

2009年1月21日

WPC、標準技術として近接電磁誘導技術を採用 オリンパスイメージング株式会社が新メンバーとして加盟

ワイヤレスパワーコンソーシアム（以下「WPC」）は、低電力携帯電子機器向けの国際規格に、安全性、エネルギー効率、充電効率などの要件を満たす技術として、近接電磁誘導技術を採用したことを発表しました。携帯電子機器における充電の互換性を確保する国際規格によって、フレキシブルで利便性の高い、まったく新しいユーザー環境を世界に向けて提供できるようになります。

「今週開催の『2009 International Consumer Electronics Show (CES)』（国際家電展示会）において、時代を先取りした無線電力供給技術が来場者の高い関心を集めている。本展示会における評判から判断するに、2009年は無線電力供給技術がブレイクする年になるかもしれない...すべてのベンダーにとって、各社製品間の互換性を確保する標準規格への合意がカギとなるだろう。」
—James Niccolai氏、IDG News Service（2009年1月11日）

近接電磁誘導技術は、近接する充電対象機器と充電源間で電力を供給するという点において、他の無線充電技術とは一線を画しています。1cm未満の距離をサポートする近接電磁誘導技術によって、送電側は充電対象の機器に集中して高効率かつ安全に電力を供給することができます。

この国際規格およびユニバーサルな無線充電ソリューションの対象となる最初の製品は4～5Wの充電式携帯電子機器で、これにはスマートフォン、携帯電話、ポータブルミュージック/ビデオプレーヤー、充電電池/充電パック、コンピュータやゲームの周辺機器、リモコン、Bluetooth®ヘッドフォン、デジタルカメラ、ビデオカメラ、シェーバーなどの機器が含まれます。

近接電磁誘導技術のメリット

近接誘導結合技術の原理となっている電磁誘導の歴史は100年を超え、シンプルさ、効率、安全性などの理由からさまざまなアプリケーションに使われています。同技術によって、有線の充電器と同等の迅速な充電が可能になります。また、この技術は安全で、近くのデータや機器に干渉することはありません。近接電磁誘導では充電対象機器と充電源をつなぐ接点が不要で、エネルギーの損失と環境への影響を最小に抑えられるとともに、水や砂、泥などがある過酷な環境でも高い信頼性を発揮します。

WPC、最新メンバーを歓迎

オリンパスイメージング株式会社がWPCの9社目のメンバーとして加盟

「製品から最後のコードをなくすことは、当社にとって最も重要なミッションの1つです —— これによって消費者に大きなメリットをもたらすだけでなく、世界全体の資源の保護にも貢献することができます。

- 代田 吉朗氏、オリンパスイメージング株式会社 ジェネラルマネージャー

オリンパスイメージングを除く他のWPCメンバーは、ConvenientPower Limited、Fulton Innovation LLC、Logitech International SA、National Semiconductor Corporation、Philips Electronics N.V.、三洋電機株式会社、Shenzhen Sang Fei Consumer Communications Company Limited、Texas Instruments Incorporatedの8社です。

ワイヤレスパワーコンソーシアムについて

ワイヤレスパワーコンソーシアム（WPC）は、充電式電子機器の互換性に関する国際規格の策定と普及を目的として、2008年12月17日に設立されました。現在WPCは、その活動に関心を寄せるすべての企業を新規メンバーとして迎え入れる態勢を整えています。

詳細はWebサイト www.wirelesspowerconsortium.com をご覧ください。